

OCW, OCW-i を活用しよう！

東工大で履修する科目を選ぶときや履修している科目について知りたいときは、OCW や OCW-i を活用しましょう。OCW には、シラバス（講義の概要）が公開されていて、履修前に講義でどのようなことをするのかを知ることができます。また、履修登録後は OCW-i と T2SCHOLA を通じて、講義資料のダウンロードや課題の提出を行います。このハンドアウトでは、OCW, OCW-i の活用方法についてご説明します。

◆ OCW → 学外からもアクセスできます！

OCW とは主に東工大の講義のシラバス(講義の概要が書かれたもの)を公開している WEB ページで、履修申告する前に講義についての情報を得ることができます。また、系の科目関連図が公開されており、履修計画の参考になります。

シラバス

シラバスを探したいときは、OCW ホームページから探すことができます。また、Google 検索で「東工大 微分積分学第一 2020」のように、「東工大 + 講義名 + 年度」と入力しても検索結果に OCW が出てきます。時間割表の PDF から科目名をクリックしてみることもできます。

以下、シラバスで重要な項目をいくつか紹介します。

授業計画・課題

授業の回ごとに、何を学習するか、課題は何かなどが書かれています。実際にどのようなことを授業で学ぶのか詳細に知ることができるので、講義を選択する際に役立ちます。

教科書・参考書、講義資料等

授業に必要な教科書や理解を深めるのに役立つ参考書などが書かれています。前もって必要な教材を知ることができるので余裕をもって授業準備に取り掛かれます。

成績評価の基準及び方法

成績がどのような基準で付けられるのかなどが書かれています。系所属や研究室所属、卒業をするうえで大切な、成績の向上に役立ちます。

関連する科目・履修の条件

関連する科目や、講義を受けるうえで予め履修しておくことが望ましい科目などが書かれています。その講義を自分が理解できるか判断でき、受けたい講義のためにどの講義を履修すべきなのか逆算することにも役立ちます。

連絡先

担当教員のメールアドレスや電話番号などが記載されています。講義について質問がある場合などは、直接教員に質問してみましょう。連絡先が書かれていないが、連絡を取りたい場合などは、学修コンシェルジュ窓口にお問い合わせください！

2020年度 微分積分学第一・演習 A(1~7) Calculus I / Recitation A(1~7)	
開講元	理工系教養科目
担当教員名	馬 昭平 皆川 龍博
授業形態	講義 / 演習
曜日・時間(講義室)	月3-4(W521) 水1-2(H101) 金1-2(W621)
クラス	A(1~7)
科目コード	LAS.M101
開講年度	2020年度
シラバス更新日	2020年9月18日
使用言語	日本語
メディア利用	Zoom
単位数	2
開講クォーター	1Q
講義資料更新日	2020年6月30日
アクセスランキング	*****

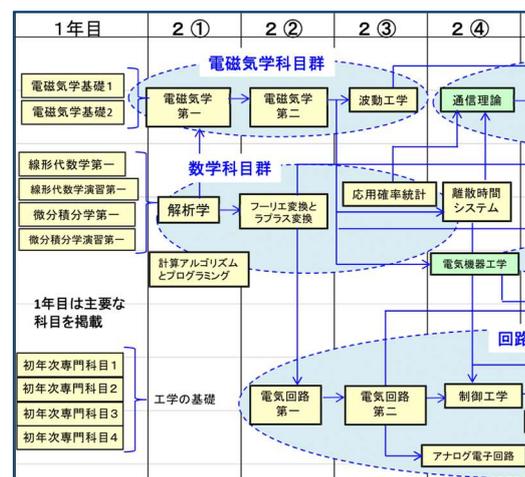
シラバス	
講義の概要とねらい	
初等関数に関する準備を行った後、多変数関数に対する偏微分、重積分およびこれらの応用について本講義のねらいは、理工学の基礎となる多変数微積分学の基礎的な知識を与えることにある。	
到達目標	
理工系の学生ならば、皆知っていなければならない事項の修得を第一目標とする。高校で学習した基本事項を踏まえ、多変数関数の偏微分に関する基礎、および重積分の基礎と応用について学習する。	
キーワード	
多変数関数、偏微分、重積分	
学生が身につける力(ディグリー・ポリシー)	
専門力	教養力
コミュニケーション力	展開力(探究力又は設定力)
✓ 展開	
授業の進め方	
講義の他に、講義の進度に合わせて毎週1回演習を行う。	
授業計画・課題	
授業計画	課題
第1回	写像と関数、いろいろな関数
第2回	講義の進度に合わせて演習を行う。
第3回	初等関数の微分と積分、有理関数等の不定積分
第4回	定積分、広義積分
第5回	講義の進度に合わせて演習を行う。
第6回	多変数関数、極限、連続性
第7回	多変数関数の微分
第8回	講義の進度に合わせて演習を行う。
第9回	高階導関数、偏微分の順序
第10回	合成関数の導関数(連鎖公式)
第11回	講義の進度に合わせて演習を行う。
第12回	多変数関数の積分
第13回	重積分と累次積分
第14回	講義の進度に合わせて演習を行う。
第15回	積分順序の交換
第16回	積分の変数変換
第17回	講義の進度に合わせて演習を行う。

OCW 内のシラバスの例

科目関連図

系ごとに関連する科目が関連図としてまとめられています。講義が学年とクォーターごとに縦に並んでいるので視認性が良く、どのクォーターにどの講義を履修すれば良いかすぐに分かります。

また、学士課程授業時間割表の方ではレベルコード(200 番台や 300 番台など)別にまとめられています。この図では実際に履修することが推奨される時期に合わせて科目がまとめられているので、これを参照することで、2 年生のうちに履修しておくべき 300 番台の科目などがあっても履修し忘れることを避けられます。



電気電子系、科目関連図の一部

◆ OCW-i → 学内者専用

OCW-i とは東工大ポータルからログインすることにより、閲覧することのできる学内者専用ページで、履修登録した科目の詳細な情報を得ることができます。

講義ノート・講義全体の補足資料

「講義ノート」には講義の正確な日程や講義室が書かれており、その回の講義資料がアップロードされています。OCW のシラバスに書かれている日程や講義室は変更になっていることがあるので、必ず OCW-i でチェックするようにしてください。「講義全体の補足資料」は使われていない講義も多いですが、講義全体にわたって使用するファイルなどがアップロードされます。

課題

ここでは課題ファイルのダウンロードや提出、提出期限を確認することができます。課題提出をした後に解答がアップロードされていることもあります。課題ファイルは講義ノートの方に上がっていることもあるので、注意してください。

お知らせ・掲示板

「お知らせ」には担当教員が、新たに講義資料や課題ファイルをアップロードしたときに、連絡が来ます。オンライン授業の Zoom アドレスもここに送られてくることが多いです。「掲示板」が利用される講義は少ないですが、ここで実験の班分けなどが発表されることがありますので、確認しましょう。

講義概要・シラバス

OCW のシラバスと書いてあることは殆ど変わりませんが、OCW のシラバスには連絡先を載せず、OCW-i のシラバスにのみ連絡先を記載する教員もいますので、OCW-i のシラバスを参照することで確実に情報を得られることが多いです。

※2021 年度からは、OCW-i と T2SCHOLA が併用されます。自分の履修する講義がどちらのシステムを利用するのか、教員から指示があります。よく確認しましょう。